

年 組 名前：

【 記事を先生や家族に
読んでもらうか、
自分で読んだ後に、
教えてください 】

問1

北杜市発祥の
ホップ「かいこがね」は、
何の原料になりますか。

.....

問2 次の文章の①から⑥に

(2025 年 7 月 28 日付 山梨日日新聞 16 面)

当てはまる言葉や数字を、教えてください。

『27日の収穫では、地ビールの製造販売を手がける神奈川の会社の社員や①から約②人が参加。

高さ約③メートルの棚につり上げられたかいこがねのつるを、専用の④で切ったり、

手で実を摘み取った。⑤平方メートルほどの畑で、約⑥キロを収穫した』

①..... ②..... ③..... ④..... ⑤..... ⑥.....

問3 一時期、「かいこがね」の生産量が減少していました。その理由を教えてください。

.....

次々と収穫される「かいこがね」
|| 北杜市大泉町西井出



北杜発祥のホップ
「かいこがね」収穫
ビールの原料となる北杜市
発祥のホップ「かいこがね」
の収穫が27日、同市大泉町西
井出の農業浅川定良さん(87)
の畑で行われた。

地ビールの製造販売を手がける「サントクガール」(神奈川県厚木市、岩本伸久社長)の社員や地域住民ら約30人が参加。高さ約4メートルの棚につり上げられたかいこがねのつるを専用の鎌で切ったり、手で実を摘み取ったりした。400平方メートルほどの畑で、約100キロを収穫した。
浅川さんによると、かいこがねは一時期、輸入ホップの流入により生産量が減少。浅川さんは品種保存のために栽培を続け、2012年から同社が買い取り、地ビールの醸造に使用している。
同社は28日から醸造を開始し、ビール「フレッシュホップIPA」として8月下旬に販売する。浅川さんは「雨が少なくて生育が早かったが、収穫量や品質は例年通り。おいしいビールになるのが楽しみだ」と話した。

《井村賢紳》